

AP水に関するQ&A

■よくご質問いただく項目についてQ&A形式でとりまとめました。

● 電解水について

Q1：電解水とはなんですか？

A1：食塩水などを電気分解することで何らかの機能を獲得した水溶液の総称です。

Q2：どんな種類がありますか？

A2：目的によって「除菌・消臭用」と「飲用」の2種類に大別されます。

「除菌・消臭用」の電解水は、強酸性電解水・微酸性電解水・中性電解水・弱アルカリ性電解水などpHによって呼称・特徴が異なります。ちなみに今回ご紹介するAP水は「中性電解水」に属します。一方「飲用」の電解水はアルカリイオン水が有名です。

Q3：「除菌・消臭」の主成分はなんですか？

A4：食塩水（NaCl）+H₂O）などの電気分解で生成される「次亜塩素酸（HOCl）」が主成分です。

Q4：「次亜塩素酸」とはなんですか？

A4：塩素の中で最も活性が高い（効果が強い）とされています。

ちなみに塩素系消毒剤の代表格である「次亜塩素酸ナトリウム水溶液」の液中には「次亜塩素酸イオン」という形態が多く含まれますが、大腸菌やポリオウイルスの不活化試験では「次亜塩素酸イオン」より「次亜塩素酸」の方が約100倍の効果があることが分かっています。

● AP水について

Q5：AP水とはなんですか？

A5：「除菌・消臭用の電解水」の優れた部分を徹底的に研究して作られた新しいタイプの中性電解水です。

Q6：強酸性電解水とどこが違うのですか？

A6：「除菌・消臭」の目的は同じです。ただAP水のpHは中性領域であることから（強酸性電解水はpH2.7以下の酸性領域）以下4つの特長を持っています。

1. 金属腐食が少ない … 食塩が含まれる分（濃度0.03%）、水道水より若干錆び易い程度です。またステンレス製品は殆ど問題ありません。
2. 塩素臭が少ない … 主成分である「次亜塩素酸」は酸性領域ではガス化し易く塩素臭が強いのですが、中性領域では殆どガス化しないため、塩素臭が少ないです。
3. 保存期間が長い … 上記同様、「次亜塩素酸」が殆どガス化せずに液中に安定して溶け込んでいる為、長期間の保存が可能です。ちなみに透明のペットボトルに常温密閉状態で約3ヵ月、冷暗所なら1年以上効果を維持できます。（強酸性電解水は、遮光容器に入れ冷暗所に保存しても、効果を維持できるのは約1週間とされています）
4. 刺激が少ない … 粘膜等、デリケートな部分についてもタンパク変性が発生し難い点を評価いただいています。